

## SSH 校内研究発表会

藤島高校では、SSH 事業の一環として高校 2 年次に 1 年間、各自がテーマを設定し、実験や調査を行う課題研究に取り組んでいます。先日、昨年度 1 年間の研究成果を全校生徒に発表する校内研究発表会を実施しました。今年は各教室を zoom でつなぎ、オンラインでの発表会開催となりました。

### 1 目的

全国課題研究発表会等に出場するプレゼンテーションを聞き、質疑応答を行うことで、全校生徒の研究に対する興味関心を高め、理解力や考察力、質問する力等の向上を図る。また、発表者が経験したことやアドバイスを 1, 2 年生に伝承することで、研究活動を深めることに繋げる。

2 日時 令和 2 年 7 月 29 日 (水) 7 限 11 時 25 分～12 時 30 分

### 3 発表内容および助言者

発表① 数学グループ (2 名)

「“正無限角形”を利用した図形の長さや面積の導出」

助言者：福井大学教育学部理数教育講座 松本智恵子准教授

② 地学グループ (6 名)

「越の三川から新断層！？—福井地震断層の研究 VIII—」

助言者：福井工業高等専門学校一般科目教室 岡本拓夫教授

### 4 生徒の感想

#### (1) 発表について

- ・先輩方は地道な努力を積み重ねて素晴らしい研究をしたのだということが感じられる発表でした。説明も詳しくとても分かりやすく、学んだことを自分の研究にも活かしていきたいと思いました。
- ・数学グループについては、積分法を使えば解けるものを他の視点から解いていくという発想は研究に大切な事だと感じました。地学グループについては、実際にフィールドワークで現地調査を行い、自分の眼で確認したことを理論とつなげていたのがすごいと思いました。
- ・質疑応答の際には発表要旨から想像していたよりも深く考え、検証を重ねているのを感じ、素晴らしいと思いました。

#### (2) 先輩からのアドバイスについて

- ・この発表を聞いて、「無知のを知ることはとても面白い」ということと「役に立ちそうにない知識でも少しずつ集めておくといつかつながり役に立つ」ということが心に残りました。まずは身近な事に目を向けているいろいろな事に疑問を持つとうと思います。

